

ドレンポンプ JM121S (100V) / JM122S (200V)

壁掛けエアコン用ドレンポンプ（2.5m, 3.0m 50/60Hz）

HA[JEM-A] 端子対応型 据付／取扱説明書

安全にご使用いただくための注意

ポンプ使用対象について

- このドレンポンプは壁掛エアコンのドレン排出用です。他の用途に使用する場合は事前にご相談下さい。

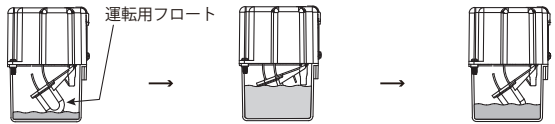
据付に際して

- 据付は必ず空調の専門業者の方が行って下さい。不備な工事は水漏れや感電、火災の原因になります。
- 据付の前に必ず『据付／取扱説明書』をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 戸外の直接雨水がかかる場所や可燃性のガス、引火物のある所へは据付けないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- 据付工事完了後、必ず試運転を行い異常がない事をご確認して下さい。
- また、この『据付／取扱説明書』は必ずお客様の方で保管して下さい。

ドレンポンプ仕組みについて説明します

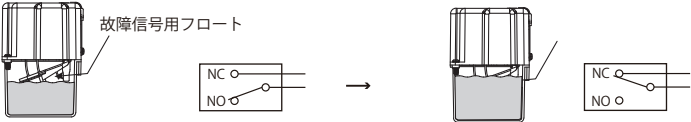
運転用

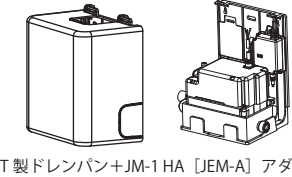
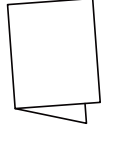
電源を接続し、タンクにドレンが流れてくるようにして下さい。タンクにドレンが流れてくるとタンク内の水位が上がりフロートが上昇しスイッチが入り排水します。また、水位が下がるとスイッチが切れてポンプが停止します。



故障信号用

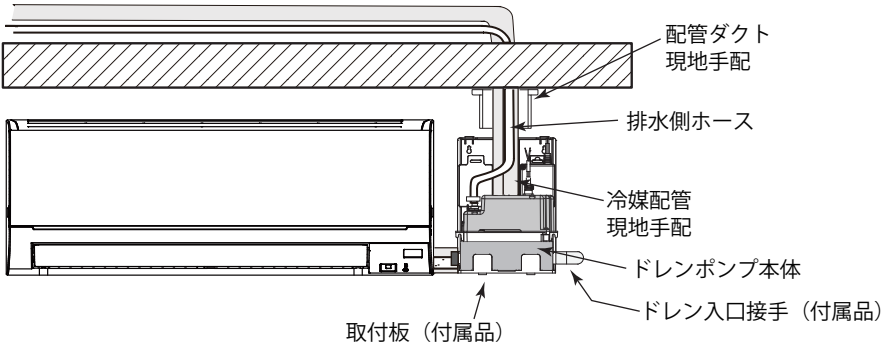
運転開始水位を超えて満水近くまで水が上昇すると故障信号用スイッチが入りエアコンの運転を停止させます。



構成部品								
次の部品をご確認ください。								
名称	ドレンポンプ（化粧カバー付）		ドレン入口接手	ジョイント	据付／取扱説明書 設置用台紙	ビス	ビス	塩ビ配管キット
部品								
個数	1		1	1	各1	1	4	1
	PET製ドレンパン+JM-1HA [JEM-A] アダプター付		インシュロック 1個付			Φ4x7	Φ4x15	塩ビ配管キット
								ビニールホース 1.5m
								ホースバンド 2個付

据付例

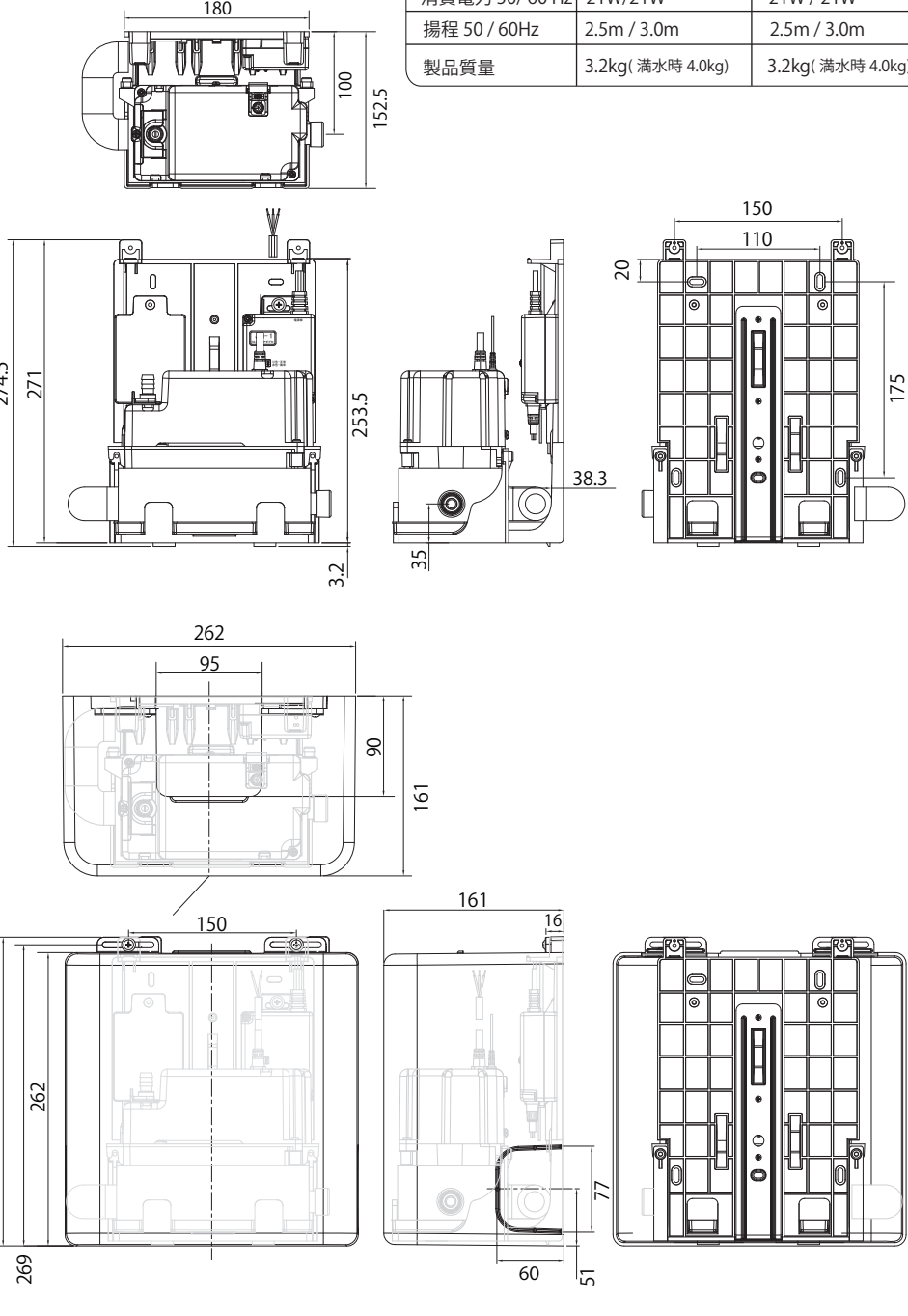
ドレンポンプはエアコンの左右どちらにでも設置可能です。



注．配管ダクトは現地手配となります。

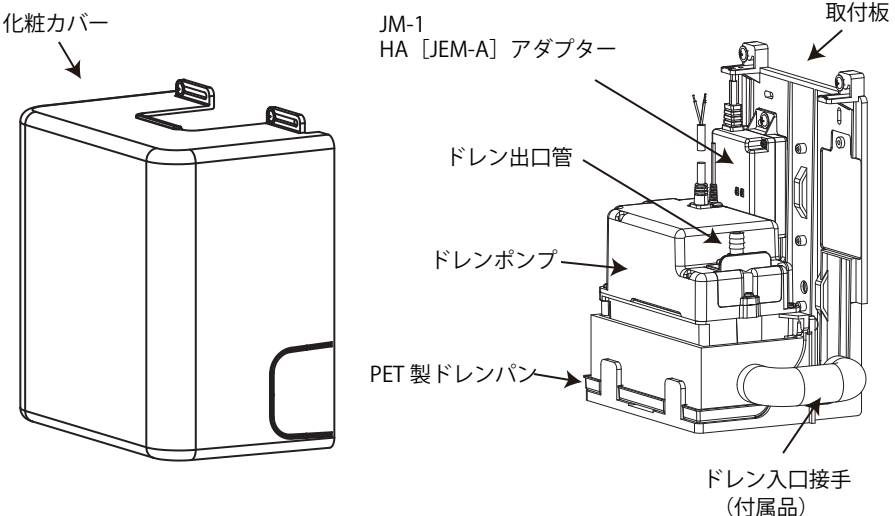
注．取付板を壁に取付けるビス、ボルトなどは現地手配となります。

外径寸法図



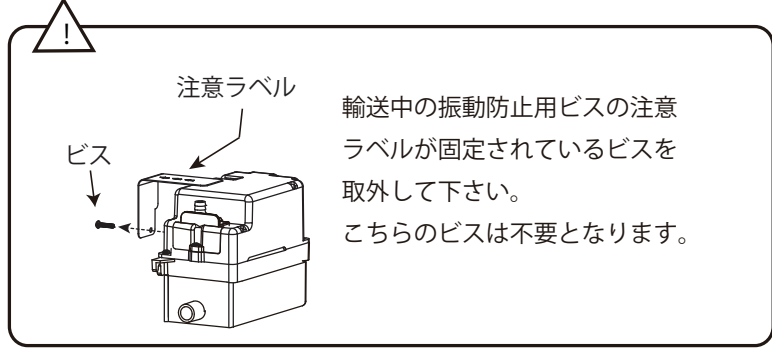
仕 様	JM121S	JM122S
電源 50 / 60 Hz	単相 100V	単相 200V
消費電力 50/ 60 Hz	21W/21W	21W / 21W
揚程 50 / 60Hz	2.5m / 3.0m	2.5m / 3.0m
製品質量	3.2kg(満水時 4.0kg)	3.2kg(満水時 4.0kg)

JM12 構成

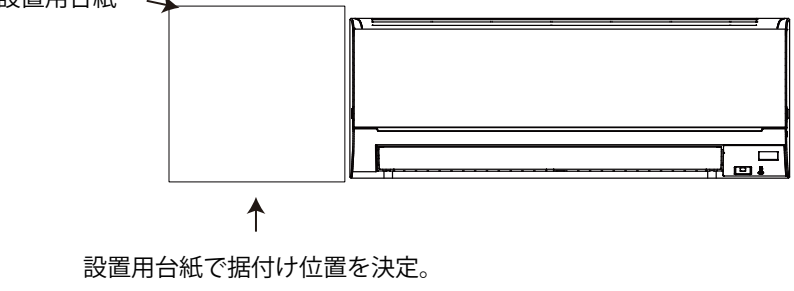


据付け方法

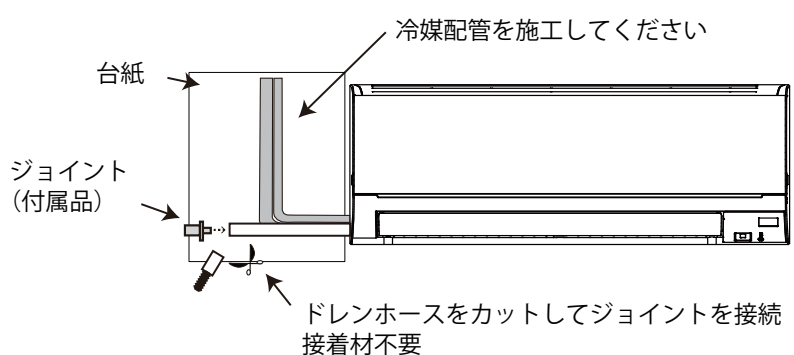
1) 施工を始める前に必ず輸送中の振動防止用ビスを取外して下さい。



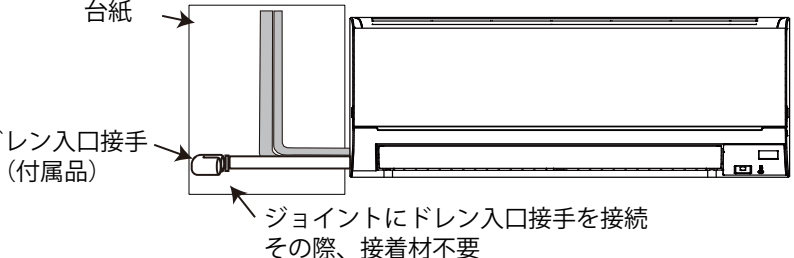
2) 付属の設置用台紙で取付け位置を決めて下さい。
傾むいて設置すると水漏れする恐れがありますので水平を必ず確認して下さい。



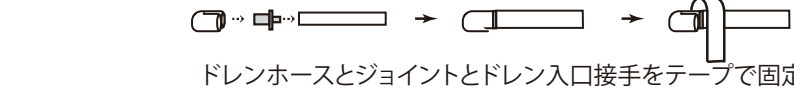
3) 設置用台紙に記載のルートで冷媒配管を施工して下さい。



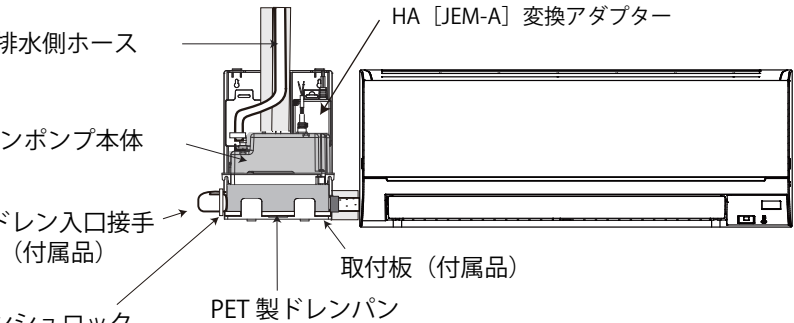
4) エアコン付属のドレンホースを台紙のカット位置に合わせて切断を行い、ドレンポンプ付属のジョイントを接続して下さい。接着材は使用しないで下さい。



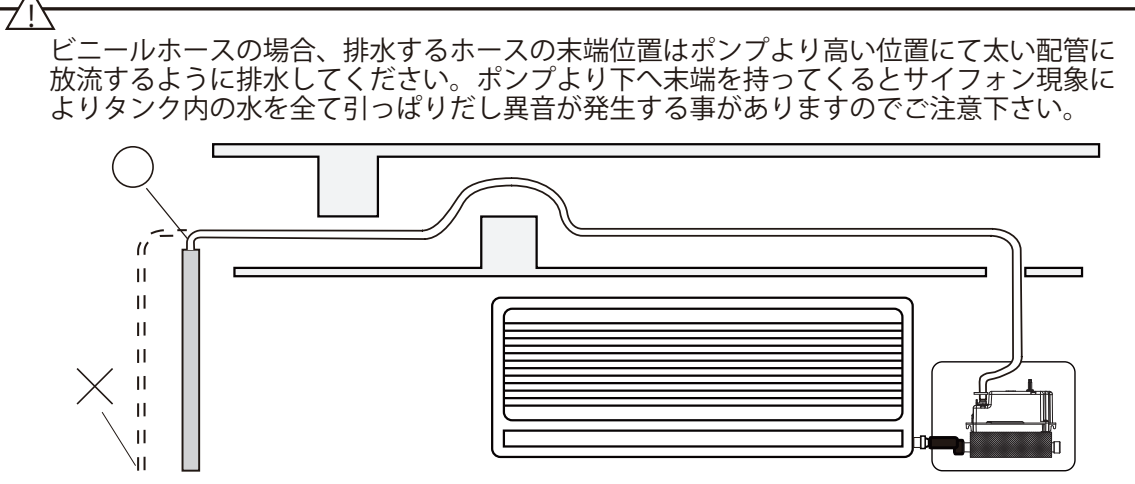
5) 付属のドレン入口接手を4) で取付けたジョイントに接続して下さい。
接着材は使用せず、ドレンホースとジョイントとアダプターをテープで固定下さい。

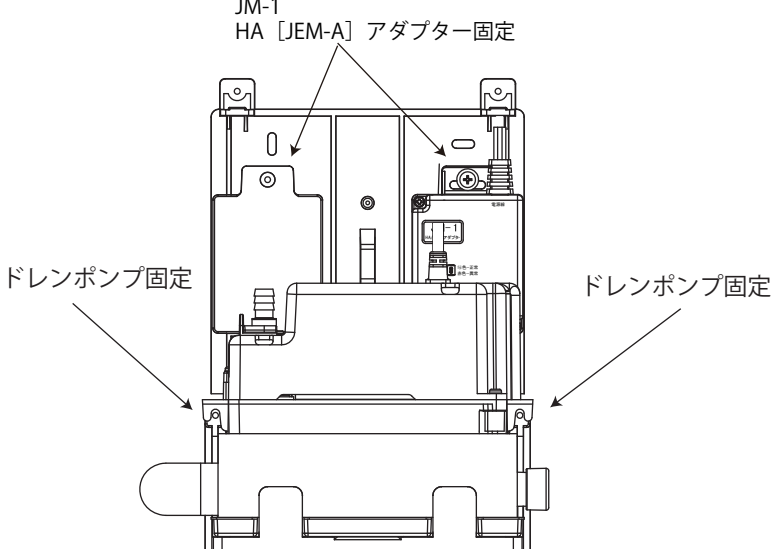


6) 設置用台紙を外して、取付板をビスで固定してください。
PET製ドレンパンを設置し、その上にドレンポンプを設置下さい。
ドレンポンプは付属のΦ4 x 15のビス(2 個) を使用して取付板に固定下さい。
JM-1HA [JEM-A] アダプターを取付板に付属のΦ4 x 7のビス(1 個) を使用し、取付板に固定して下さい。JM-1HA [JEM-A] アダプターは左右どちらでも取付ける事が出来ます。最後に付属のドレン入口接手をドレンポンプのドレン入口に差込み付属のインシュロックで抜けないよう固定して下さい。



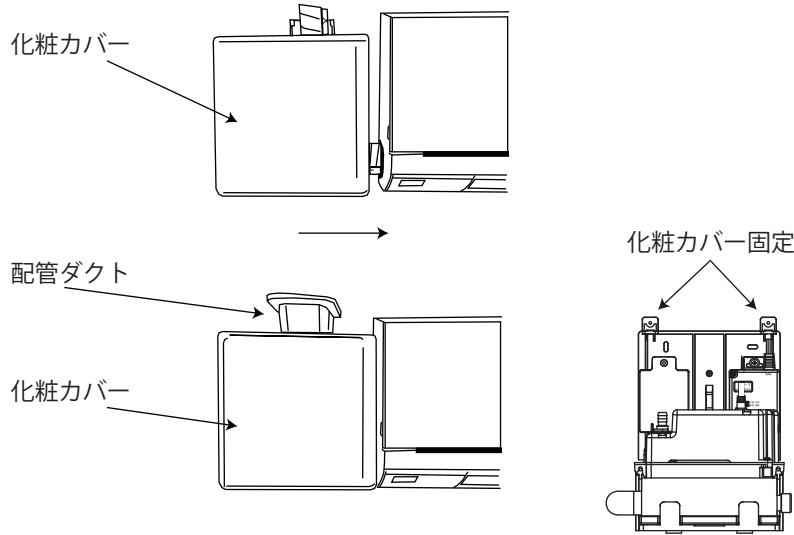
7) 排水側のホースをドレンポンプのドレン出口管に差込み付属のホースバンドで固定してください。ドレン出口配管は付属の『ビニールホース』を使用するか、別売品『ビニールホース（H9）』『断熱付ホース（D9）』を使用して下さい。
(規定のサイズと異なるホースを使用した場合ポンプの性能を保証出来ませんので注意して下さい)
(高温多湿で結露の可能性の高い場所で使用する場合は『断熱付ホース（D9）』を使用して下さい)





8)ドレンポンプの電源及び故障信号の接続後、化粧カバーをセットし、空調機側にスライドさせ
エアコンとドレンポンプの隙間を無くして下さい。

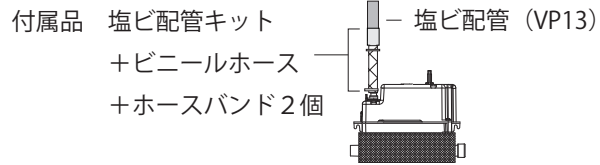
9)化粧カバーを付属のΦ4×15のビス(2個)で固定して配管ダクトカバーで配管を隠して下さい。



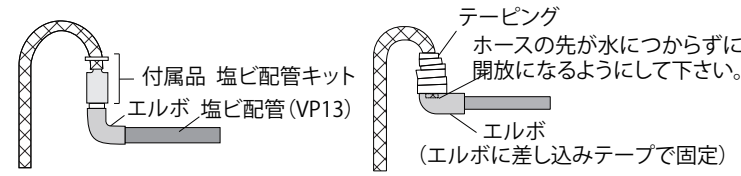
付属の『塩ビ配管キット』を使用すれば塩ビ配管(VP13)での施行も可能です。

塩ビ配管の場合、立ち上げ配管を空気漏りが出来ないように配管をまっすぐ施行して下さい。
配管途中に空気漏りが出来ると排水で来なくなる場合がありますので注意して下さい。

ポンプ側で使用する場合



配管側で使用する場合



ポンプの揚程は2.5m以下(50Hz)(60Hzの場合は3.0m以下)で使用して下さい。
ホースを既設の塩ビ配管に接続する場合、末端にエルボを接続し、上からドレンホースをエルボに差し込み抜けないようテープで固定するか、付属の『塩ビ配管キット』を使用して接続して下さい。

電源線及び故障信号線の接続要領

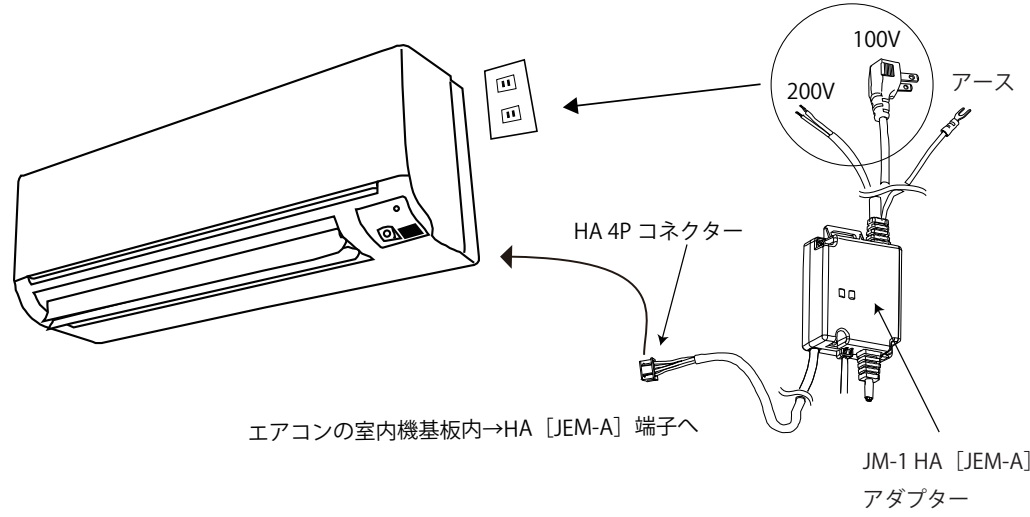
故障信号はポンプの電源が入っていないと作動しません

1)電源線の接続要領

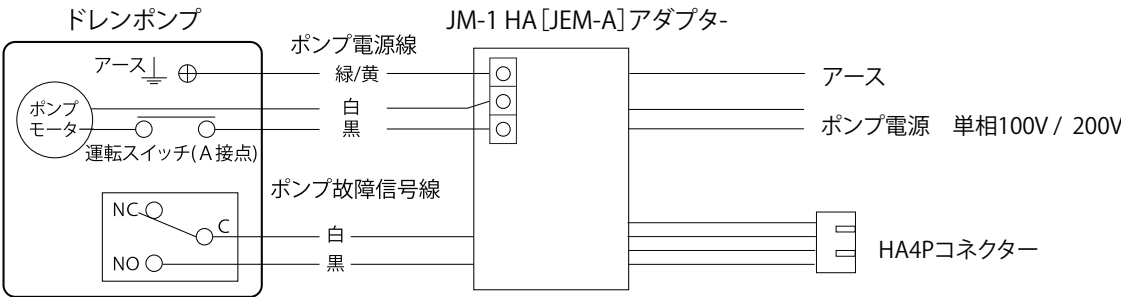
- 室内機の近くにポンプ用の電源コンセントを設置して電源を取って下さい。
200Vの場合はプラグを現地手配の上、電源を取って下さい。
(常時ポンプへ通電されるようにしてください)
- 黄/緑色はアース線です。空調機等のアースに接続して下さい。

2)故障信号(無電圧常時接点)の接続要領

- 水漏れ事故を防止するために必ず故障信号線を各メーカーの室内基板内にあるHA[JEM-A]端子にHA4Pコネクタを接続下さい。
- 接続方法が分からない時は弊社まで問い合わせ下さい。



電気配線図



各空調メーカーによって接続するコネクタ番号が異なります。
また、メーカーによっては、メーカー純正の変換コネクタが必要な場合がございます。予め、確認の上配線して下さい。

試運転要領

故障信号はポンプの電源が入っていないと作動しません

注水量に気をつけてください。一度に大量の水を入れるとポンプの排水量を上回り
水漏れを起こします。必ず水を少しずつ入れて試運転を行なって下さい。

- 運転確認:室内機のドレンパンに水(約0.5ℓ)を少しずつ入れ、ドレンポンプが作動するのを確認して下さい。排水時ビニールホースの接続口より水漏れがない事を確認して下さい。
また、運転が止まらない、異常な音、振動がない事を確認して下さい。
- 故障信号確認:出口側のビニールホースを折り曲げて排水出来ない状態にして、更に水(約0.3ℓ)を入れて故障信号が働き、空調機が必ず停止する事を確認して下さい。
- 試運転時ポンプ動作に異常がある場合はトラブルシューティングを確認下さい。

運転時のご注意

- 冷房運転停止後、残留ドレンの排出をするため、ポンプには常時通電しておいて下さい。ドレンの排出が終われば、ドレンポンプは自動的に運転を停止します。
- ドレンポンプに異常が発生して、ドレンの排出が出来ない時は故障信号によりエアコンの運転は停止します。(但し、故障信号をエアコンのインターロック回路に接続している場合)
- もし冷房運転中にエアコン内部或はドレンポンプのタンクから水が漏れる時はすぐにエアコンを停止して下さい。ドレン出口が詰まっていたり、故障信号が正常に作動していない恐れがありますので、お買い上げの販売店にご連絡下さい。

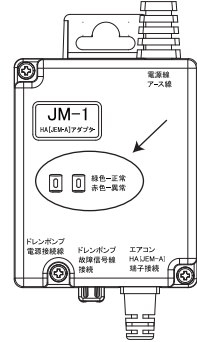
トラブルシューティング

ドレンポンプが故障かな?と思ったら①から③の確認を行い原因を特定し対処方法とって下さい。

- JM-1 HA [JEM-A] アダプターの LED 表示を確認下さい。
- ドレンポンプの動作状態を確認して下さい。
- 水漏れの状況を確認して下さい。

JM-1 HA [JEM-A] アダプター

JM-1 HA [JEM-A] アダプター
にはドレンポンプの正常・異常
を LED による表示機能があり
ます。化粧カバーを取り外し、
LED の点灯色をご確認下さい。
緑=正常 赤=異常



① JM-1 LED 表示	②ドレンポンプの動作	③水漏れの状況	考えられる原因	対処方法
緑	停止状態	無し	運転水位まで水が入っていない	運転水位まで水を足して下さい
		有り	ポンプまでの配管から水漏れ又は ポンプまでの配管が逆勾配	接続箇所、結露を確認して下さい 配管の勾配を調整して下さい
赤	長時間の運転 連続運転	無し	能力オーバー	揚程の調整をして下さい
			吐出側配管、逆止弁に詰まり	詰まりを除去して下さい
	停止状態	有り、または無し	モーター / 駆動回路異常	販売元又は弊社までお問い合わせ下さい
			フロートの動作不良	タンク内のフロート動作を確認して下さい
点灯していない	長時間の運転 連続運転	有り、または無し	吐出側配管または逆止弁に詰まり	詰まりを除去して下さい
			能力オーバー	揚程の調整をして下さい
点灯していない	停止状態	有り、または無し	電源がきていない	ポンプの電源供給を確認して下さい
			JM-1 の不良	販売元又は弊社までお問い合わせ下さい

その他、ご不明な場合は弊社へお問い合わせください。

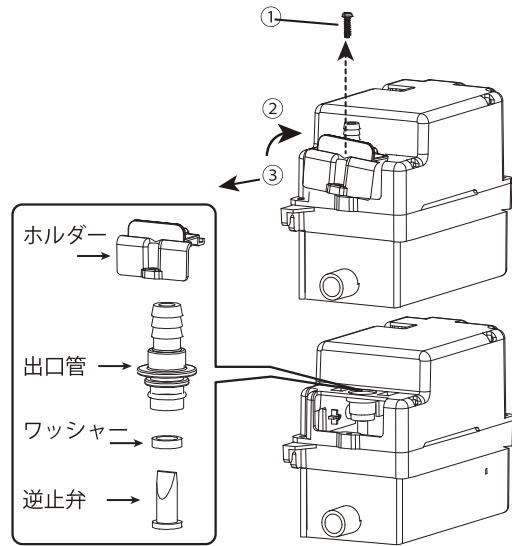
日常の点検事項

- 定期的に試運転を行なって下さい。(シーズン前)
- 動作に異常がある場合はトラブルシューティングを確認下さい。

逆止弁のメンテナンスの方法

※必ず電源を切ってから作業して下さい。

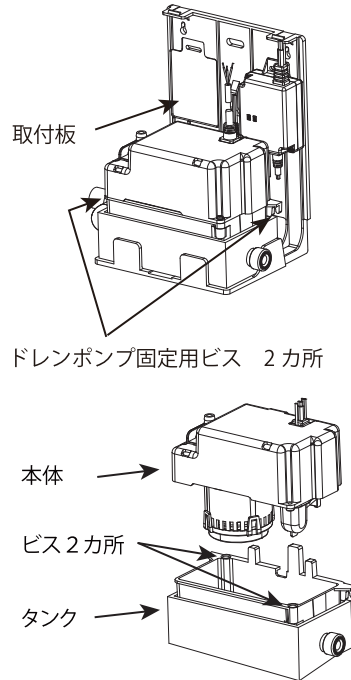
- ホルダーに取付けられているビス
を外してください。
- ホルダーを右記の矢印の②方向に
持ち上げてから③の方向に引いて
下さい。ホルダーが外れます。
- 出口管を抜くと逆止弁があります。
逆止弁を取り外し清掃して下さい。
逆止弁を傷つけないよう注意下さい。
- 取外した逆の順序で元に戻して、
必ず試運転を行なって下さい。



タンク内の清掃方法

※必ず電源を切ってから作業して下さい。

- 取付板にあるドレンポンプ固定用
ビスを外してください。
- タンクと本体を固定しているビス
(2カ所図の→部分)を取り外して
下さい。
- 本体を持ち上げタンクを取出し、
本体を取付板に置き、タンクを清掃して
下さい。
- 本体を取付板に置いた際、本体に残って
いたドレンが溜まる事が有ります。その
場合は濡れた部分を拭いてからタンクを
設置下さい。
- 元に戻す際はタンクと本体がしっかり
はまっているか確認下さい。



保証期間

製品の保証期間はお買い上げの日より一年間となっています。正常な使用状態で保証期間内に不具合が生じた場合は
無償で修理もしくは交換させて頂きます。(持ち込み修理となります。)
保証は本製品に対してのみで、それ以外の損害については保証対象外とさせて頂きます。

株式会社 エヌ・エス・シー

〒561-0894 大阪府豊中市勝部2-6-34

TEL 06-6849-2500 FAX 06-6849-2515